

公衛協発ひろしま美化大作戦Bコースの実績

	平成26年度	平成27年度
事業数	187件	326件
参加人数	104,914人	159,881人

公衛協発ひろしま美化大作戦は、次世代に住みよい環境を残すことを目的に実施されています。

全県で取り組まれる公衛協の基幹活動

成果の集め方、見せ方に苦慮

この事業では、環境の維持のための実践取り組みはもちろん、活動場所ごとの活動記録を蓄積し広く住民に公表することで、公衛協のPRを図ることもねらいとしています。

平成23年度から平成25年度までは、申請公衛協（支部・地区・学区）単位含むにアドバトラインやのぼり、花の種、パックテストなど活動の報告を依頼（Bコース）し市町公衛協でどのくらい環境を維持する活動が展開されているのか、把握する取り組みを始めました。

この結果、平成27年度は、17公衛協から報告を頂き、延べ326回の事業が展開され、15万9千881人が活動に参加したことが分かりました。しかし、まだ報告されていない多くの事業が展開されているのも事実です。引き続き公衛協の活動成果の見える化が課題です。

平成28年度も、活動の全体像の把握に努め、広く内外に発信するとげられるよう工夫して実施いたします。「地域記録書を作成いたしました。届けていただきたい」とおかけしますが、活動実績に対する実践活動ができる準備をすることを目的に、座学と体験でプログラムを構成。公衛協などに参加を呼びかけ、出グッズを利用して、分別方法を振り返る（上）、貸

全県共通重点メニュー振り返り（公衛協発・ひろしま美化大作戦）

（地域支援課）

専門研修「ごみ減量・3Rコース」終了

定員を大幅に上回る盛況ぶり

専門的な知識や技術を習得し、中堅的な位置づけで公衛協活動に関わる人材育成を目的とした「専門研修」を5月から開催しています。そのひとつとして、5月30日と6月17日に「ごみ減量・3Rコース」を開催しました。今回は、①ごみ減量の観察を、簡単なワークを通して確認。同じようにごみ問題に关心を持つている人でも価値観が違うということを改めて感じたようです。その後、ごみ減量の取り組みを



表した「3R」や廃棄物に関する法律について学習し、具体例を聞きながら取り組み方法を学びました。次に、カードを使って各市町の分別方法に従って実際に分別をする実習を行いました。この実習は簡単にできる手法として、参加者に大好評でした。

午後からは、牛乳パックを使つたりユース工作と風呂敷包みの実習を行いました。はさみや色紙、ボンドを使いながら小物入れを作製しました。作り方の解説本を見ながら実際の作品を作ることで、さらに理解が深まったようです。（地域支援課）

専門研修は、9月に「広報・ツールづくりコース」、1月に「企画づくりコース」を開催します。研修の場は、他地域の取り組みを実践者が直接聞く機会になります。ぜひ専門研修に参加して、今後の公衛協活動のヒントや新たに始める活動のきっかけにしてください。（地域支援課）

平成28年度地球温暖化対策地域協議会活動支援事業

これまでの経験活かし各地で事業展開 更なるステップアップ新たな取り組みに挑戦

脱温暖化センターひろしまでは、脱温暖化のまちづくりの推進に向け、県内の地球温暖化対策地域協議会（以下、TEAMといいます）を対象に活動助成を行っています。

平成28年度は1申請あたり3万円を上限に募集したところ、21TEAMから応募がありました。その中からいくつかの事例を紹介します。

◆出前講座【広島市地球温暖化対策地域協議会】

広島市内の公衆衛生推進協議会や小学校、公民館等へ働きかけ、座学と体験を組み合わせた出前講座を開催します。座学は、子どもと大人向けで内容を変えるなど幅広く対応。体験学習は、子ども向けには「牛乳パックを用いたごみ収集車工作」、大人は「家電の消費電力等の測定」や「ネクタイのリサイクルによるネックレス制作」といったように、工夫を凝らします。

◆呉市環境活動リーダー研修【くれ環境セミナー】【くれ環境市民の会】

4つの部会がそれぞれ実施している講座を抜粋し、半年間にわたる総合的な「くれ環境セミナー」を企画。一般市民を対象に、新たな人材発掘や仲間づくりにつなげるとともに、セミナーの企画運営を通じて部会間の協働体制を強化し、人材育成と活動の活性化を図ります。

◆COOL CHOICE(クールチョイス)推進事業【かんきょう会議 浮城】

温暖化対策に向けた“賢い選択”を促す国民運動『COOL CHOICE(ク

ルチョイス※詳しくは3面参照』』を推進するため、5回シリーズのワークショップを実施します。季節に応じ、また、実際の暮らしに活かせる取り組み事例の紹介などを通じて“賢い選択”ができる人を増やす、脱温暖化活動を盛り上げていきます。

このほか、各TEAMがこれまでの経験を活かし、更なるステップアップを図り、新たな取り組みに挑戦するなど、各地でさまざまな事業が展開される予定です。

（脱温暖化センターひろしま）

○平成28年度助成団体一覧○

- 府中町脱温暖化市民協議会
- 広島市地球温暖化対策地域協議会
- くれ環境市民の会
- 脱温暖化ぬまくまフォーラム
- 脱温暖化ネットおんど
- 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会
- 地球温暖化対策はつかいちさくら協議会
- エコINNくろせ
- 布野の食と脱温暖化を考える会
- 町づくり脱温暖化やすうら
- ひがしひろしま環境家族
- 倉橋の海とくらしを守る会
- 脱温暖化プロジェクトせら
- くい環境会議
- 海田町地球温暖化対策地域協議会
- 脱温暖化・門田地域協議会
- 栗原地区地球温暖化対策地域協議会
- 竹原市地球温暖化対策地域協議会
- かんきょう会議 浮城
- しのうエコ推進会
- 脱温暖化福山中央地域協議会

クール チョイス 国民運動「COOL CHOICE」

最近、地球温暖化問題が大きくニュースで取り上げられていますが、皆さまは、地球温暖化を防ぐためにどのような取り組みを実践していますか。

この時期、職場では上着やネクタイをつけない軽装で過ごすことで、工アコンの

使用時間の短縮、設定温度の見直しを行なう「COOLBIZ(クールビズ)」、家庭では公民館や図書館、スーパーなどに岡田と、涼しさを共有する個々の家庭での省エネにつなげる「COOL SHARE(クールシェア)」などが呼びかけられています。この他にも、日光をさえぎり蒸散効果で部屋の温度を下げるグリーンカーテンや照明機器の更新、エコドライブなど私たちが取り組める省エネ活動はたくさんあります。

皆さんは「COOL CHOICE」という言葉を聞いたことがありますか。

脱温暖化に資するあらゆる賢い選択

「賛同書」の提出にご協力下さい

COOL CHOICE(クールチョイス)は、地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動の名称で、昨年7月にスタートしました。

内閣府と関係省庁が一丸となり、民間団体や地方公共団体と連携し、国民の地球温暖化対策に対する理解と協力を呼びかけます。

COOL CHOICE(クールチョイス)は、省エネ型の製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択などを促し、地球温暖化防止に向けた国民一人一人の自主的な行動や積極的な選択に結びつけるという運動です。

脱温暖化センターはこの取り組みに賛同し、より多くの方に自主的に省エネに取り組んでいただくため、環境省の賛同書を配布・回収しております。皆さまには賛同書への記入・提出の協力をお願いします。

(脱温暖化センターひろしま)

私たちが取り組めるさまざまな取り組みの一例

CoolBiz

みんなで節電アクション
家庭でオフィスで節電アクションにせひご参加ください

ECO DRIVER.
これから、マナー。

「移動」を「エコ」に。
smart move

未来のために、いま選ぼう。
COOL CHOICE

あかり未来計画

グリーンカーテンプロジェクト

WARM BIZ
ウォームビズ

Light Down

「ごみ減量・3R」コース
「ごみ減量・3R」コースは、今年度初めて実施するもので、ごみとは何ができるか、イベント

「基礎研修の開き方」コースは、役員や中堅クラスの推進委員を対象に、新任推進委員へ公衛協とは何かを伝える基礎研修の講師を養成する「コースです。

基礎研修の開き方
開き方コース

「広報・ツールづくり」コースは、広報担当者や推進委員を対象に、紙媒体の広報物をテ

などの際にいかに地域住民に広めるかなどの視点でごみ減量について考える「コースです。

広報・ツール
づくりコース

「公衛協の事業計画へ組み入れていただき、人材育成・組織強化にご活用ください。

環境協議会では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案や、推進委員の養成・育成のための各種研修会の企画・運営等を行っています。今回は「全県共通事業重点メニュー」「専門研修」を紹介します。

【全県共通事業重点メニュー】
1万人のエコチェック事業

の省エネに挑戦し、9月分の電気使用量明細書から成果を把握・記録します。今年度は、昨年

の実践率が50%を超えた公衛協向けに、推進委員以外にも取り組みを広げる「広めの」コース、ガス・灯油の記録を追加した「深める」コースを準備しています。

【公衛協発・ひろしま美化大作戦】
地域美化活動実施申込書
地区・学区レベルで実施されるよう、環境保全活動に取り組む総合的な事業です。市町・支部・地区・学区レベルで実

【1万人の食チェック事業】
「1万人の食チェック事業」は、全推進委員を対象に、各自が食事で摂取した食品をチェックします。6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎月19日(教育の日)に定期的に記録します。エコチ

「公衛協発ウォーキング事業」は、住民の日常生活に寄り添うため、あるテーマについての専門的な知識・技術の習得を目的に開催しており、今年度は5つの「コース」を実施します。

【専門研修】
公衆衛生推進委員の力量形成および組織強化を図るために、あるテーマについての専門的な知識・技術の習得を目的に開催しております。公衛協や募金事業のPRに活用してください。

【広島県がん検診推進員養成研修】
「広島県がん検診推進員養成研修」は、広島県全体の受診率向上に寄与することをねらいに、実施におけるノウハウ等の支援や広島県認定の推進員制度を活用し、がん検診に関する知識を習得し、がん検診の受診勧奨を積極的に行なう人材を養成するコースです。

平成28年度

全県共通事業重点メニュー・専門研修

実施している清掃活動や保全活動について、その活動記録を残し、集約して広く公表することができます。公衛協のPRにつなげます。推進委員の皆さまは、実施記録を市町公衛協事務局へ提出してください。

記録内容を食品バランスに変更しています。今年度から、カードには、採取した食品に○を付け、食事バランスを振り返ります。

ク事業同様に、実践率50%を目指して取り組みます。今年度から、公衛協発ウォーキングコースとして、ただ歩くだけではなく、環境の視点を入れた「コース」。ポイントの設定を工夫しているのが特徴です。

これら4つの全県共通事業重点メニューに通じて、「コース」という形にするプロセスを、1泊2日で実習を通じて学ぶ「コース」は、「こんなことをしたい」「この課題を解決したい」などの思いを学ぶ「コース」です。

企画づくりコース

マニ作る際のポイントを座学と実習を通して学ぶ「コース」です。



株吸血するヒトスジシマカ(中)、植木鉢の溜まり水(下)と発生源となる竹の切り

近年、海外から国内への感染症の持ち込みが問題となっています。それが、2014年の国内でのデング熱流行です。デング熱は熱帯・亜熱帯地域で問題となっている蚊媒介感染症です。流行には、熱帯マカの変わりに、日本に広く生息するヒトスジマカが大きな役割を果たし、海外から帰国あるいは入国した感染者により持ち込まれました。そして現在、心配されているのが中南米などで流行している

蚊による感染症とその対策 数を減らし、刺されない工夫を

ジ力熱の持ち込みです。妊婦が感染して小頭症の子どもが多数確認されたため世界的に危険視されており、デング熱と同じように国内流行の可能性があるため、要注意とされています。流行は、感染者を吸血した蚊がウイルス陽性蚊になることで始まります。このウイルス陽性蚊による感染サイクルが繰り返されることで感染が広がっていきます。

ヒトスジシマカは人工物の溜まり水でよく繁殖するため、人が多く居住する地域は流行が起りやすく要注意です。このため流行対策では①蚊の数を減らす(ボウフラ発生源の対策)②人や蚊に刺されない③蚊を減らす対策で重要なのが地域での取り組みになります。そのため、行政が患者の早期発見と対応(陽性蚊を発生させない)の患者対策は行政が主となりますが、①の(陽性蚊を発生させない)の患者対策は行政が主となります。そのため、蚊を減らす対策で重要なのが地域での取り組みになります。

今回、平成28年3月に策定しました「第4次広島県環境基本計画」を紹介します。「広島県環境基本計画」は、広島県の環境行政の基本方針となるもので、「第1次計画」を平成9年3月に策定して以降、環境問題の変化に適切に対応できるよう、適宜、改正を行っています。今回の「第4次計画」では、前回計画と比較して、大きく2つの要素を盛り込んでいます。

1つ目は、基本理念のサブタイトルを「工」の力でひろしまを元気に」とし、里山里海の荒廃、海岸「山間」の3つのエリ

け田などの溜まり水対策を行い、地域では雨水樹に防除剤を投入したところ、個人防御への意識も高める必要があります。また、人が蚊に対して無防備でいるほど流行を広げてしまう恐れがあります。虫よけ剤を活用するなど、肌の露出を避けたり、肌の露出を避けたり、肌の露出を避けたり、虫よけ剤を活用するなど、個人防御への意識も高める必要があります。

云々

第4次広島県環境基本計画について エコの力でひろしまを元気に

広島県環境基本計画

検索

《目指す姿を構成する行動・ライフスタイル》
基本となる行動・ライフスタイル
(エリア間で共通)



多くの県民の皆さんに、地域資源を活用し、経済的価値や心の豊かな暮らし、自主的な活動が広がっていくことを目指しています。

取り組むこととしており、お問い合わせください。

第55回環境保健夏季大学

日 時: 平成28年7月7日(木)~8日(金)
受付開始: 12:00~ 開講式: 13:00~
会 場: グリーンピアせとうち(呉市安浦町三津口)
対象者: ①市町公衛協役員及び事務局担当者でこれまでの夏季大学への参加が5回未満の方、②市町公衛協事務局活性化事業を実施する公衛協の事務局員および機能リーダー、③研修内容を考慮し適任と思われる公衛協関係者、④広島市公衆衛生推進協議会関係者(新規)、⑤地球温暖化対策地域協議会関係者(新規)

主なプログラム:(予定)

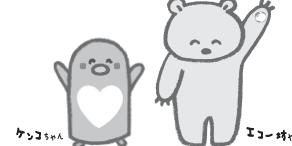
[1日目]分科会

- 当協会が主催する専門研修の体験
- 健康長寿支援事業の体験

[2日目]

- 基調講演 内容: 「『無関心層』への働きかけの基本のキ」
講師: 広島修道大学人間環境学部 西村 仁志 氏
- 無関心層へ働きかける方法の検討分科会
- 1万人の食チェック事業おたのしみ抽選会

平成28年度 地区衛生組織活動資金募集 通称 『環境・健康募金』



環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成28年度で57回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立っています。

環境・健康募金
総額(円)
8,597,082

募金の使途(公衛協配分金)

環境づくり

- ごみの減量化と分別排出の徹底・リサイクル活動の推進
- 道路、河川など生活空間の美化活動
- 脱温化に向けたライフスタイルの推進
- みちクリーン・散乱ごみの追放運動
- 脱温化普及啓発活動

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	930,900	54.1
海田町	990,000	39.2
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	413,200	22.1
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	1,180,170	46.5
廿日市市	2,546,200	75.0
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市宮島	0	0.0
安芸太田町	0	0.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	0	0.0
安芸高田市	0	0.0
東広島市	0	0.0
三原市	1,205,300	67.0
世羅町	0	0.0
尾道市	1,276,100	28.4
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	0	0.0
庄原市	0	0.0
吳市	0	0.0
その他	55,212	82.5
合計	8,597,082	14.8

市町別一覧表(平成28年5月末現在)

※この表は、平成28年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

